

帯広畜産大学同窓会報

第32号 令和7年8月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

会 長 挨 拶

帯広畜産大学同窓会会長
三津原 勝
(昭和55年農業工学科卒)



同窓生の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。
さて今年2月、十勝管内は記録的な大雪に見舞われました。一晩に1.2mを超える雪が降り、帯広市内の交通は完全にマヒ状態となりました。私の在学中にも大雪で碧雲寮が陸の孤島状態になったことを思い出しました。

近年、地球規模の気象変動により極端な天気に見舞われ、人々の生活はもとより農業にも大きな影響を及ぼしています。

十勝管内ではかつて「干ばつに凶作なし」とよく言われてきましたが、2023年にはまれにみる猛暑で農作物に病気が蔓延し、大きな被害を受けました。乳牛も暑さの影響で乳量が減ったり、衰弱する牛が多発し繁殖にまで障害も発生しました。

これから本格的な夏を迎えるにあたり、豊作への期待と今年の天候への心配が入り混じっています。

さて、同窓会で発行しております会報は、今まで印刷会社に印刷を発注し皆さんに郵送してお届けしていました。昨年10月に郵便料金は値上げとなり、また印刷経費も値上がりしております。経費の削減と皆さんに同窓会のホームページの閲覧を促すため、同窓会報をホームページ上に閲覧し、皆さんにPDFファイルをダウンロードしていただく方式に切り替えることといたしました。ただし、インターネット環境が無い方やペーパーでの同窓会報を希望される方には、ファイルを別途印刷し郵送いたします。具体的な変更内容については別途郵便でお知らせいたしますので皆様にはなにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、母校畜大では様々な取り組みを行っています。私は仕事柄、畜大に行くことが多いので、実際に見たり聞いたりする機会に恵まれています。特に昨年からは馬に関する施設整備や取り組みが多く紹介されています。

昨年もご紹介しましたが、新厩舎の整備に加え、今年は覆馬場が完成しました。

また、顕微授精による日本初の仔馬が誕生し、希少な日本在来馬の保存と効率的な生産増殖が期待されています。

さらに皆さんには懐かしい「畜大牛乳」もリニューアルされ、今までの超高温殺菌法から高温殺菌法に変更となり、新工場で生産が開始となり6月17日から販売が開始されました。いままでより「よりおいしい畜大牛乳」が誕生しました。

また、現在でも同窓会と大学に設置された「同窓会支援室」との協議を続けております。時間はかかりますが、問題解決にむけ今後に取り進めてまいります。

さて、今年もホームカミングデーが10月11日(土)に開催されます。昨年も多くの同窓生にお集まりいただき、楽しい集いの場となりました。あわせて部活や学科の仲間たちが集まるいい機会となったようです。

ぜひ多くの同窓生の皆さんがホームカミングデーに参加して、懐かしい、そして変貌を遂げる母校を見に来てください。

大学近況報告

帯広畜産大学長
長 澤 秀 行
(昭和53年獣医学科卒)



地球沸騰化の時代到来と言われていますが、帯広も例外ではありません。「全国一の暑さ、帯広市」が全国ニュースになりました。本学では、実験室、動物室は従来から空調設備がありましたが、その後、講義室、図書館、生協食堂にエアコンが整備され、去年は学生寮にも寄付によりコモンルーム(昔の修養室)にエアコンが設置されました。「本部棟にはエアコンがあるのに、我々の教員室にはついていない。」「暑くて仕事ができない」という声を受けて、今年は1号館南側から整備を始める予定です。牛舎や厩舎も暑さ対策が必要となっています。

暑さばかりではありません。本年2月4日には「帯広で観測史上最大となる一晩で124cmの積雪」があり、災害級の大雪に見舞われました。「帯広」が全国的に有名になりましたが、畜大関連のニュースもいくつかは全道版、全国版に取り上げられています。学生や教職員の活躍の様子を、大学ホームページでご覧ください。今年10月11日に開催される「ホームカミングデー」や、全国100以上の学生団体が一齐にSNSやWebサイトを通じて自身の活動を発信し、卒業生や地域の方々から寄付や応援を募るオンラインチャリティーイベントの「Giving Campaign 2025」などの情報もあります。

教育・学生満足度の観点が評価される「みんなの大学情報・学校情報ポータルサイト」で、本学が口コミ評価「地方国立大学ランキング」第一位に選ばれました。学生のコメントには、「畜産、食品を本気でやりたい人に最高の大学」「のびのびとして北海道を満喫できる大学」「学びたいことが決まっていると充実する大学」「現場に近い獣医大学」「他の大学では出来ない経験がここで積める」等々があります。以前にも、全国の大学生協が実施したアンケートで、自分の大学が「大好き」あるいは「好き」と答えた学生の割合で畜大は全国一位になっています。ランキングものは、調査手法によって左右されるものとはいえ、全国一になるのは気持ちのいいものです。

今から17年前の2008年に「学生中心の大学づくり」を基本方針として学長に就任しました。8年間の任期満了後、文部科学省の国立大学法人評価委員として6年間、全国の国立大学を評価する立場となりました。その間、社会が大学を見る目は厳しいことを痛感し、教育の質をあげることが極めて重要であり、危機感を持つ大学は率先して大学改革に取り組む様子を目の当たりにしました。

本学も、3年前の2022年に小樽商科大学、北見工业大学との3大学経営統合により北海道国立大学機構を発足させ、私は初代の機構総括理事（帯広畜産大学学長）として再登板しました。経営統合は運営費交付金の減少に対抗するための経費節減や、18歳人口の減少に対応する受験生確保が目的ではありません。農商工連携による異分野融合や企業連携の推進は、将来を担う人材の養成のための教育の質保証に必須です。当初、3つの異なる大学の経営統合には種々な課題がありましたが、「できない理由を探すのではなく、やれることを率先して推進しよう」を合言葉に、一步一步前進しているのを実感します。

本学は、学生、地域、社会の期待に応えるべく「食を支え、暮らしを守る」グローバル人材の育成に向けて、教職員が力を合わせて汗を流しています。同窓生の皆様には、引き続き、本学に対するご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。



支 部 だ よ り

帯広畜産大学同窓会宮城県支部総会・懇親会に長澤学長が出席しました

令和6年2月10日に、仙台市内で帯広畜産大学同窓会宮城県支部総会・懇親会が開催され、長澤学長が出席しました。



▲支部長の挨拶

宮城県支部同窓会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度以来の開催となり、総会・懇親会には約20名の同窓生が参加しました。

懇親会では、長澤学長から本学の近況について報告するとともに、同窓生の皆様に肩を組みながら逍遙歌を歌い、大いに賑わいました。



▲挨拶をする長澤学長



▲総会の様子



▲逍遙歌を歌う様子



▲集合写真

帯広畜産大学関東同窓会に 長澤学長が出席しました

令和6年6月16日に、東京都内で帯広畜産大学関東同窓会が開催され、長澤学長が出席しました。

関東同窓会は、関東に在住する本学の卒業生・修了生で構成される同窓会で、今回は56名の同窓生が参加しました。総会では、役員改選により関東同窓会会長が澤田氏から林氏に交代となりました。

懇親会では、来賓としてご出席された福島県飯館村前村長の菅野典雄氏（同窓生）が、特別講演「“までい”が日本を救う！？」と題して、講演を行いました。

続いて、長澤学長から本学の近況について報告するとともに、同窓生の皆様は旧友との再会を喜び合い、親睦を深めました。



▲林 関東同窓会会長



▲澤田 前関東同窓会長



▲総会の様子



▲飯館村前村長 菅野典雄氏の特別公演



▲歓談の様子

帯広畜産大学同窓会兵庫県支部総会に 長澤学長が出席しました

令和6年7月20日（土）に、兵庫県明石市内で帯広畜産大学同窓会兵庫県支部総会が開催され、長澤学長が出席しました。

総会では、長澤学長から本学の近況について報告するとともに、同窓生の皆様は5年ぶりの再会を喜び合いつつ、和やかな時間を過ごしました。

兵庫県支部 長谷川 隆一 会長からのコメントは以下のとおりです。

令和6年7月20日兵庫県明石市で帯広畜産大学同窓会兵庫県支部総会を開催しました。

コロナの影響で5年ぶりの開催となりましたが、長澤学長も含め25名参加いただきました。

学長から差し入れていただいたお酒崩崩肴で乾杯し、思い出話で大いに盛り上がりました。

最後はお互いの肩を組み合わせながら逍遥歌で締め、来年の再会を誓ったところです。

今後も兵庫県支部総会を継続して開催していきたいと考えておりますのでご協力をお願いします。



帯広畜産大学同窓会福島県支部懇親会に 長澤学長が出席

令和6年11月30日（土）に福島市内で帯広畜産大学同窓会福島県支部懇親会が開催され、長澤学長が出席しました。

福島県支部懇親会には、11名が集まりました。懇親会では、長澤学長から本学の近況について報告を行い、同窓生の皆さまは、畜大酒を味わいながら当時の景色を思い浮かべ、大いに盛り上がりました。最後は、逍遙歌を合唱し、再会を誓いあいました。



▲懇親会の様子



▲逍遙歌の合唱



▲集合写真

会員の声

寄付を募り、ミャンマー難民の救援へ

佐藤 充

（畜産科学課程 生命科学ユニット 平成24年卒業）

大学卒業後、これまでアジアを中心に様々な国に住み、そこに暮らす人びとと共に働いてきました。中でも最も思い入れの強い国は2015年から約2年間働いたミャンマーです。当時「アジア最後のフロンティア」と謳われ、

経済は絶好調。そこでの仕事は同国初となる冷凍野菜加工工場の立ち上げでした。元々ミャンマーで栽培されていない野菜を現地の農家に栽培してもらうその仕事は、とにかく困難の連続でしたが、なんとか年間を通して原料を調達できるまでになりました。現地のスタッフや契約農家らに支えていただいたこと、忘れることはできません。

しかし2021年に軍事クーデターが発生、そして未曾有の大地震。現在約300万人以上が国内避難民となっておりと言われています。一部は国境を越えて隣国へ流入する事態となっています。中でも報道されることのないインドに逃れている難民について知りたいと思い、かつての同僚の伝手を借りて現地に初めて入ったのが3年半前。国連を含む国際援助がほとんど入ることができず、国境付近に滞留している一部の難民たちが支援だけでなく収入も皆無に近い状況で飢餓線上にいることを知りました。そこで農作業の合間や農閑期に講演会を開催したりお笑い芸人のライブの前説をやるなどして寄付を募り、冬には現地に赴いて、喫緊している難民のニーズを聞き取り、集まったお金



▲講演会の様子(2024)



▲契約農家と首都ネピドーにて(2016)

で米や薬、ブランケットなどを現地調達、配布しています。

自ら望んで難民になっているわけではありません。不条理によって元々の生活を捨てざるを得なかった人たちに対して自分のキャパの範囲でできることをやろうと思っています。いつか国が平和になり故郷に帰還する彼らを見届けるのが僕の夢です。活動の様子はFacebookやInstagram(@mitsuruphoto1986)で発信しています。また活動にご興味を持たれた方はmitsuruphoto@gmail.comまでご連絡ください。



▲難民に直接物資を届ける様子、インド国境地帯にて(2025)

北海道を旅して

早坂 貴代史
(昭和53年酪農学科卒)



6年前に農研機構を退職し、古希を迎えた私は、牛をテーマとした油絵や動画の制作、家庭菜園などをしながら暮らしています。今年5月、歩けるうちに北海道旅行を思い立ち、畜大にも立ち寄りました。女子学

生の増加、リノベーションした本館と碧雲寮、そして研究施設の拡充を目の当たりにして、時代の大きな変化を感じました。

北海道内を巡ると、クマの出没やエゾシカによる交通事故(ロードキル)が増加しており、野生動物の個体数が増加していることを実感しました。同時にこれは地域の人口減少と過疎化の進行を物語っていると感じました。私の在学していた頃の高高度経済成長期後に問題になっていた都市の過密化は緩和され、公害もほぼなくなりました。

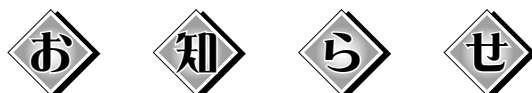
今後は、地域の過疎化が進むにつれて、農業の持続性や環境問題といった地域づくりを支えるうえで、畜大の役割と期待がますます大きくなると感じています。母校の発展を祈念します。



▲巡回 F10 2015年



▲働いた牛の肖像 F10 2014年



総会のご案内

令和7年8月吉日

帯広畜産大学同窓会会員各位

帯広畜産大学同窓会会長
三津原 勝

本年は総会開催の年となっておりますので、以下の日時にて開催予定ですので、会員の皆様にお知らせいたします。

記

日 時：2025年10月11日(土) 午前9時00分より
場 所：帯広畜産大学 講堂

総会終了後に、ホームカミングデーが開催されますので、ホームカミングデーにも参加される方は受付を済ましてからご入場ください。また例年開催しております懇親会は、ホームカミングデーでの開催となります。

FISU 冬季ワールドユニバーシティーズの アイスホッケー女子で、本学学生も代表入りする 日本チームが銅メダルを獲得

畜産科学課程食品科学ユニット2年の中條夢叶さんも代表入りする日本チームが、1月にイタリア・トリノで行われた FISU 冬季ワールドユニバーシティーズのアイスホッケー女子で銅メダルを獲得しました。3位決定戦では、中條さんが勝ち越し点を決め、スロバキアに2-1で勝利し、攻守で銅メダル獲得に大きく貢献しました。

本大会は、国際大学スポーツ連盟（FISU）が主催する学生を対象にした国際総合競技大会で、2年ごとに開催されているものです。

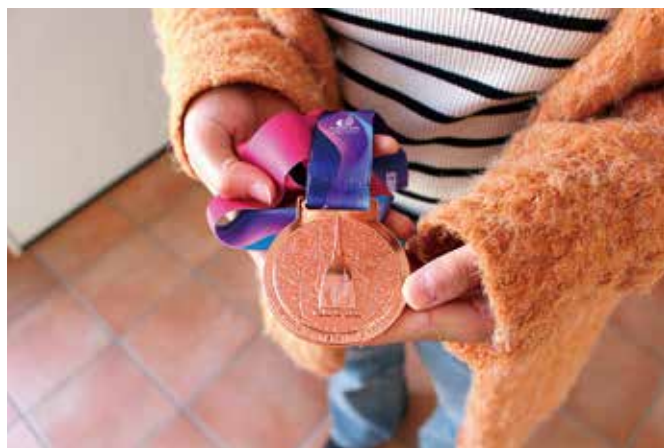
中條さんは、夜に週3回～4回のペースで市外のアイスアリーナで練習を行い、土日はアルバイトをしながら学業と両立してアイスホッケーを続けています。

将来は、食品関係の会社で働くことを目標に、食品科学ユニットで勉強に励んでいます。

本大会を終えて中條さんは「想像していたより楽しい大会だった。簡単なイタリア語は修得していたので、海外の方と交流もでき、充実した日々だった。また、メダルがかかった試合で得点を決めることができて嬉しい。」と語りました。



▲中條さん



▲女子アイスホッケー日本代表が獲得した銅メダル

災害級の大雪に救世主現る！畜大雪かき隊が除雪活動

令和7年2月4日（火）に観測史上1位の災害級の大雪に見舞われた十勝管内で、「畜大雪かき隊」が高齢者宅の除雪活動を行いました。

畜大雪かき隊は、雪かきを通して畜大生と帯広に住む地域の方々をつなげることを目的に令和5年12月に結成され、高齢者宅などの除雪を有償でお手伝いしています。現在は約70名が在籍し、依頼に応じて2人から3人1組で訪問し、除雪活動を行っています。

大雪が降った4日から今日までに約50世帯に訪問し、除雪を行いました。

昨年は、依頼があってから訪問までに運営上で課題が見つかったことから、今年から雪かき隊公式LINEを立ち上げ、お手伝いが必要な高齢者に事前に友達登録をしてもらい、雪が降る前日に除雪のお手伝いが必要か確認を行い、必要な世帯をひとつのマップにまとめたあと、シフトを作成し、効率よく回れるように工夫を行いました。

同団体の木原代表（畜産科学課程3年）と長尾副代表（同3年）は、「昨年は反省点が多く、とても大変なことが多かった。今年は効率よく除雪ができたと思うが課題はまだ多い。本当にお手伝いが必要な人に支援が届く

ように課題を解決しながら活動を続けていきたい。」と語りました。

また、来年度から新代表となる宮本さん（同1年）、副代表となる新居田さん（共同獣医学課程1年）は2人とも道外出身。2人は、「せっかく帯広に来たので、地域に還元できることをしたい」と思い、同団体に入った。また、北海道の雪は雪質が良くサラサラで、雪かきもとても楽しい。」と話しました。

※現在雪かきの新規ご依頼は停止中です。



▲左から、木原代表、新居田さん、宮本さん、長尾副代表

日本で初めて顕微授精で誕生した仔馬の公開見学会を開催

令和7年6月18日（水）に、帯広畜産大学にて、日本で初めて顕微授精で誕生した仔馬の公開見学会を開催しました。

この仔馬は、南保泰雄教授、羽田真悟准教授、渡部浩之准教授の共同研究により、生体卵巣から吸引した馬卵子の体外成熟、顕微授精、体外培養胚の移植という一連の高度な生殖補助技術を駆使して誕生した、国内初の成功例です。

今回は報道機関を対象に見学会が行われ、研究成果や日本在来馬保存への可能性について紹介するとともに、仔馬の健やかな姿を間近でご覧いただきました。

南保教授は、「誕生した仔馬は、生後2週間を迎え、とても健康に成長しています。日々の健康管理を継続し、将来的には繁殖馬としての活躍も視野に入れています。今後も、先進的な生殖技術を活用し、馬の命をつなぐ研究と地域貢献に取り組んでいきたい。」と語りました。

なお、この研究の背景には、日本在来馬の飼養頭数が国内の全馬の3%未満にとどまり、その保全と持続的な生産が求められている現状があります。今回の成果は、希少な在来馬の保存や、ホースセラピー等への利活用に適した馬の安定的な生産に貢献するものであり、次世代型の生殖技術として、さらなる発展が期待されます。

また、本研究は、日本中央競馬会畜産振興事業「体外受精等次世代型の日本在来馬生産法確立事業」の支援のもと実施されています。



▲仔馬とじゃれあう小星（代理母）



▲元気に誕生した仔馬



▲出産に立ち会った南保教授（前列右）と研究室の学生たち



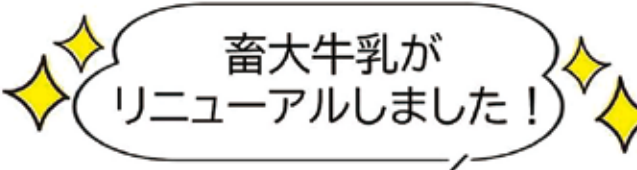
▲卵子を提供した白雪（北海道和種）

畜大牛乳がリニューアル販売 72℃15秒殺菌に！

帯広畜産大学では、6月17日（火）にリニューアルした「畜大牛乳」の販売を開始します。

なお、「畜大牛乳」は帯広畜産大学生協同組合のほか、十勝管内のスーパー（ハピオ、ダイイチ、フクハラ（一部お取り扱いのない店舗がございます））、べんぞう商店）などでお買い求めいただけます。

詳細は、畜産フィールド科学センターのページをご覧ください。



畜大牛乳が
リニューアルしました！



殺菌方法を120℃ 2秒間から72℃ 15秒間に変更し
ゆっくり殺菌することにより、搾りたてのさっぱりとした風味が楽しめるようになりました。

消費期限が5日間と短くなってしまいました。
購入したらお早めに飲んでくださいね！

帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター
Tel: 0152-49-5606 / Email: field@uak.ac.jp
URL: <https://www.uak.ac.jp/field/food>



小野寺玲奈さんが「空道」 第3回ワールドカップ2025で優勝！

令和7年7月5日（土）・6日（日）にブルガリア共和国ブルガス市で開催された「第3回空道ワールドカップ2025」において、小野寺玲奈さん（食品科学ユニット2年）が優勝しました。

小野寺さんは、5月に開催された「2025北斗旗全日本空道体力別選手権大会」で2連覇を達成し、日本代表としてワールドカップへの出場を決めていました。今回の大会では、各国の強豪選手を相手に戦い抜き、世界の頂点に立ちました。

7月15日（火）には、長澤学長を訪問し、優勝の報告を行いました。懇談の中で小野寺さんは、現地での試合の様子や日本代表としての責任感、支えてくれた方々への感謝の気持ちなどを語りました。報告を受けた学長は、「本当に素晴らしい快挙。これからのますますの活躍も楽しみにしています。」と称賛の言葉が贈られました。

小野寺さんは、昨年出場したユーラシアンカップの



▲トロフィーを手に笑顔の長澤学長と、メダルと賞状を掲げる小野寺さん

決勝で、自分より身長の高い選手に上から掴まれ、膝蹴りによる攻撃を受けて敗れた経験を振り返り、「その教訓から対策を考え、トレーニングを積んできました。」それが今回の大会でしっかりと生かされました。」と語りました。

今回のワールドカップでも、対戦相手はベテランの選手ばかりで、自分より身長の高い選手が多かったとのことですが、「試合前に相手の動きをよく観察して分析し、戦略を立てて臨むことができました。コンディションも良く、相手のパンチがよく見えて、冷静に対応できた。」と試合中の様子を振り返りました。

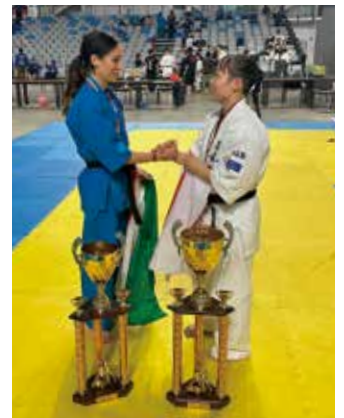
さらに、「日本代表として絶対に負けられないというプレッシャーもありましたが、それを力に変えて、結果につなげられて本当に良かったです。こうして学長に優勝の報告ができたことがとても嬉しいです。」と喜びと感謝の気持ちを語りました。



▲表彰台で笑顔を見せる小野寺さん（中央）



▲小野寺さんが手にした1位のメダル（表面と裏面）



▲決勝戦のライバルと健闘を称え合い握手する場面



事務局だより

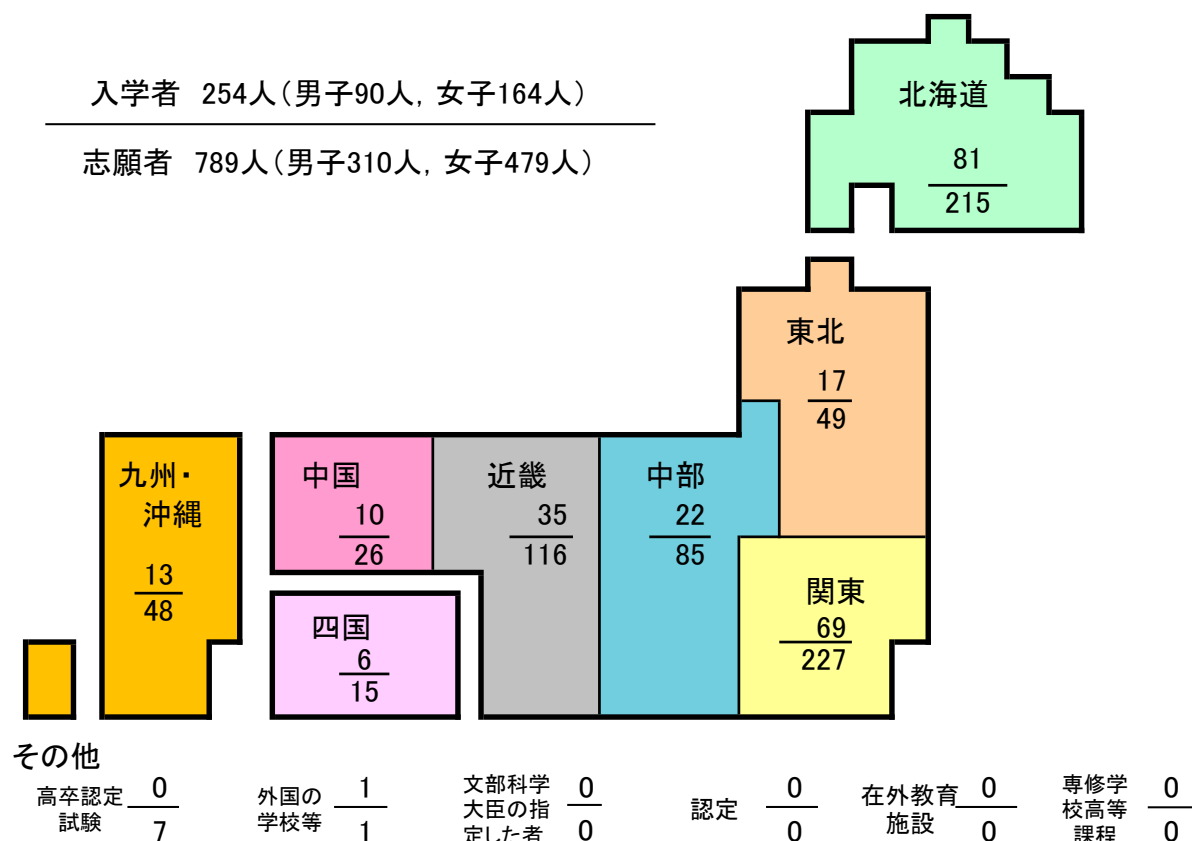
同窓会会報について

これまで、同窓会からのご案内や大学の近況などを速やかにお届けするため、毎年「同窓会会報」を皆さまに郵送してまいりました。しかしながら、ペーパーレス化の推進や郵送料の値上げといった状況を踏まえ、第32号より紙媒体での送付を中止し、大学ホームページ内の同窓会ページにてご覧いただく形式へと変更いたします。今後は、皆さまへのご案内の際にQRコードを記載したお知らせを同封いたしますので、そちらからアクセスして会報をご覧いただくか、大学ホームページの同窓会ページより直接ご確認いただけます。ご不便をおかけする方もいらっしゃるかと存じますが、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

「記載事項変更届」について

これまで、同窓会会報とともに「記載事項変更届」を同封し、同窓会本部にて記録されている会員情報（終身会費、勤務先、勤務先郵便番号、勤務先住所、勤務先電話番号、勤務先ファックス番号、自宅郵便番号、自宅住所、自宅電話番号、自宅ファックス番号、電子メールアドレス）の確認をお願いしてまいりました。しかしながら、前述の通り、同窓会会報の紙媒体での送付を第32号より中止することとなりました。それに伴い、「記載事項変更届」にてお願いしていた電子メールアドレスの登録につきましても、以下の登録フォームから直接ご入力いただけるようになっております。また、同窓会ホームページの「住所変更連絡」ページ (<https://www.obihiro.ac.jp/dousoukai#6>) から、情報の変更が可能です。これらの対応により、来年以降は「記載事項変更届」の送付も中止する予定です。ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆ 令和7年度学部地域別志願者・入学者状況



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdaQfuKI1HQ70nG9-hq6W4zJNs_bMe3WQzGEfqUNMCXi9xiCg/viewform

帯広畜産大学同窓会 記載事項変更届		年 月 日
氏 名 よ り な	旧姓名	経身会費
卒業年		納入済・未納
勤務先・進学 し ょ う ぐ	〒 - -	職業分類 1.記入される欄は印字を厳禁して下さい。
所在地 名称 み ち な ま		親戚企業・近隣職員・役員 自営・開業・国家公務員 独立行政法人・准特別法公職員 海外事業所役員 海外支店・専門主任 進内高等専修・海外高等学校 進内高等学校・進内中学校 進内小中校・進内小学校 その他特設・進修 その他特設・一般／不明
TEL	FAX	「団体職員・役員」 →農業者団体・共済組合・財団法人、 比較法人等を意味します。 「進学」 →大学・大学院、専門学校等存在する 中の方を意味します。 「不職」 →現在在籍についていない方を意味し ます。(近年退職者(卒業生)増) 「不明」 →就職・進学されているか不明な方 を意味します。 (敬称略名姓・進学先名称等記載の ない場合は、職業分類を不明と 扱って頂きます。)
電子メール アドレス @	@	お名前

*①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊀㊁㊂㊃㊄㊅㊆㊇㊈㊉㊐㊑㊒㊓㊔㊕㊖㊗㊘㊙㊚㊛㊜㊝㊞㊟㊠㊡㊢㊣㊤㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

*①年度末に属した、専攻科の単位取得が完了している方にのみ入力してください。
*②個人情報保護のため、必要の場合宛封の封筒に入れて郵送して頂く必要があります。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。〔敬称略〕

十倉宏	(S55年 畜産経営)	田中勝三郎	(S38年 総合農学科)	中島三博	(S51年 酪農学科)
横田秀雄	(S24年 農芸化学)	額額兵衛	(S31年 酪農学科)	藤江軍司	(S37年 酪農学科)
杉原清	(S50年 草地学科)	加納一美	(S26年 農芸化学)	藤崎幸藏	(旧教員)
西東厚志	(H8年 畜産環境)	山本誠次	(S43年 農産化学)	堀川洋	(旧教員)
中川ひろ子	(S46年 農産化学)	小林東市	(S42年 獣医)	有賀秀子	(S31年 酪農学科)
大町一郎	(S25年 酪農学科)	井下孝雄	(S35年 獣医)	吉川幹男	(S26年 酪農科)
三枝實	(S22年 獣医)	小木曾修治	(S35年 獣医)	一條茂	(S24年 獣医)
市村明	(S50年 農産化学)	奥山寛	(旧教員)	岡本岩夫	(S35年 獣医学科)
藤川紀男	(S37年 総合農学科)	米田弘	(S38年 獣医)	小林晃一	(S34年 獣医科)
中岡祐司	(S59年 獣医)	大嶋正紀	(S41年 農産化学)	吉村忠	(S41年 酪農学科)
内山幸雄	(S33年 酪農学科)	沢田三郎	(S25年 酪農)		
田村勝男	(S43年 草地学科)	藤田淳	(S45年 農業工学科)		
瓜田義行	(S41年 酪農学科)	田邊眞	(S38年 獣医)		

*2024年9月から2025年6月までに本部事務局にご連絡をいただきました。

帯広畜産大学同窓会報第32号をお届けいたします。

本年度は、ホームカミングデーに合わせて同窓会総会を開催いたします。授業は、コロナ禍で導入されたZoomによるオンライン形式を活用したハイブリッド方式で行われており、基本的には対面授業が中心です。ただし、体調不良の学生や、3大学連携科目を履修している小樽商科大学・北見工業大学の学生については、オンラインでの参加も可能となっています。実習については、すべて対面で実施されています。

なお、本号より、冊子体での送付を取り止め、大学ホームページ内の「同窓会会報」ページからご覧いただく形式へと変更いたしました。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

同窓会事務につきましては、大学の同窓会支援室のご協力のもと、役員間で連携しながら進めております。皆様にはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(文責：島田謙一郎 (平成4年 家畜生産科学))

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の管理
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
 - 1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 - 2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 - 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
 - 4) その他代議員会で認めたもの
 2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
 3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
- 第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
- 第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
 2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
- 第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することが出来る。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めたとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
- 第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。

帯広畜産大学同窓会令和5年度通常会計決算報告

令和5年10月1日～令和6年9月30日

収入の部

単位：円

項 目	令和5年度予算	令和5年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	6,149,360	6,149,360	0	前年度繰越金
終 身 会 費	3,000,000	3,400,000	400,000	20,000円×170名(終身会費)
雑 収 入	100,000	446,388	346,388	利息(JAかわにし)、寄付金(29名)
合 計	9,249,360	9,995,748	746,388	

支出の部

単位：円

項 目	令和5年度予算	令和5年度決算	増 減	備 考
印 刷 代	1,500,000	2,196,466	696,466	同窓会報印刷、発送作業
通信、郵送料	800,000	1,419,700	619,700	料金受取払い
人 件 費	500,000	429,000	△ 71,000	逍遥舎管理費、アルバイト
事 務 費	300,000	256,577	△ 43,423	会員データシステム更新
交 通 費	600,000	254,743	△ 345,257	役員旅費(役員会)
役員手当	200,000	84,000	△ 116,000	役員会、代議員会日当
記 念 品 代	50,000	37,400	△ 12,600	感謝状盾
雑 費	450,000	443,303	△ 6,697	重複納入終身会費返金、弔電、振込手数料、逍遥舎の機の更新
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予 備 費	3,849,360	0	△ 3,849,360	
合 計	9,249,360	6,121,189	△ 3,128,171	

収入金額 9,995,748 円 ①
 支出金額 6,121,189 円 ②
 次年度繰越金額 3,874,559 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和 6 年 10 月 8 日

監 事

中家 敏博
 渡邊 敏弘



帯広畜産大学同窓会令和5年度周年事業特別会計決算報告

令和5年10月1日～令和6年9月30日

収入の部					単位：円
項 目	令和5年度予算	令和5年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	17,333,067	17,333,067	0		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	108	108	0	定期預金利息(ろうきん)	
合 計	18,333,175	18,333,175	0		

支出の部					単位：円
項 目	令和5年度予算	令和5年度決算	増 減	備 考	
周年事業活動費	1,300,000	797,976	△ 502,024	九州、関東支部等への役員派遣、ホームカミングデー支援	
周年事業基金	17,033,175	0	△ 17,033,175		
合 計	18,333,175	797,976	△ 17,535,199		

収入金額 18,333,175 円 ③
 支出金額 797,976 円 ④
 次年度繰越金額 17,535,199 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和6年10月7日

監 事

中家 敏博
 渡邊 敏弘



帯広畜産大学同窓会令和6年度通常会計予算(案)

(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	増 減	備 考
前年度繰越金	6,149,360	3,874,559	△ 2,274,801	
終 身 会 費	3,400,000	3,000,000	△ 400,000	20,000×150名
雑 収 入	446,388	100,000	△ 346,388	利息、寄付金
合 計	9,995,748	6,974,559	△ 3,021,189	
支出の部				単位：円
項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	増 減	備 考
印 刷 代	2,196,466	1,500,000	△ 696,466	同窓会報印刷等
通信、郵送料	1,419,700	1,500,000	80,300	料金受取払い
人 件 費	429,000	500,000	71,000	謝金、施設管理費
事 務 費	256,577	300,000	43,423	事務用品
交 通 費	254,743	700,000	445,257	役員旅費、支部同窓会役員派遣
役 員 手 当	84,000	200,000	116,000	役員日当
記 念 品 代	37,400	50,000	12,600	感謝状橋等
雑 費	443,303	450,000	6,697	郵便振込料金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予 備 費	0	774,559	774,559	
合 計	6,121,189	6,974,559	853,370	

帯広畜産大学同窓会令和6年度周年事業特別会計予算(案)

(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	増 減	備 考
前年度繰越金	17,333,067	17,535,199	202,132	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	108	108	0	定期預金利息(ろうきん)
合 計	18,333,175	18,535,307	202,132	

支出の部				単位：円
項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	増 減	備 考
周年事業活動費	797,976	500,000	△ 297,976	ホームカミングデー協賛金など
周年事業基金	0	18,035,307	18,035,307	次回周年記念事業に向けて
合 計	797,976	18,535,307	17,737,331	